



棚と棚の間は本を探すための楽しいスペースですが、友達とは距離をとって本を選ぶようにしましょう。マスクもお忘れなく。

新着図書よりおすすめの本紹介

「少年と犬」 馳星周

男と犬、泥棒と犬、夫婦と犬、犬を愛する人に贈る感涙作。直木賞受賞作。



「首里の馬」 高山羽根子

世界の果ての遠くにいる人たちにオンライン通話でクイズを出題するオペレーターの末名子は中学生のころから沖縄の郷土資料館の資料整理を手伝っている。ある台風の夜、幻の宮古馬が末名子宅の庭に迷い込んできて…。芥川賞受賞作。芥川賞受賞作。

「ちよぼ - 加賀百万石を照らす月」

諸田玲子

前田家は利家とまつ、そしてこの女性によって築かれた。仇の遺児から側室、三代藩主の母に登り詰めた女傑「ちよぼ」を描く長篇小説。

「バッテリー」1～6

あさのあつこ

才能と傲慢な自信を持つ中学生ピッチャー原田巧と、巧とバッテリーを組むキャッチャー永倉豪の物語。複数回映像化されており、近年ではアニメ化もされている。

「潤一郎訳 源氏物語」

紫式部/谷崎潤一郎

大正・昭和時代の小説家である谷崎潤一郎による、『源氏物語』の現代日本語訳。谷崎は昭和の時代に3回にわたり源氏物語を訳した。「谷崎訳源氏」「潤一郎訳源氏」「谷崎源氏」などと呼ばれている。

これらの本は人気なので買いなおしました



「昨日星を探した言い訳」 河野 裕

全寮制中高一貫校に進学した坂口孝文は茅森良子と同級生になる。生まれつき緑色の瞳をもつ茅森は、目の色による差別が表向きにはなくなったこの国で、総理大臣になり真の平等な社会を創ることを目指していた。茅森と親しくなった坂口は、秘密を打ち明けられる。

「テロリストの家」 中山 七里

国際テロを担当する警視庁公安部のエリート刑事・幣原。イスラム国関連の極秘捜査から突然外され息子の秀樹がテロリストに志願したとして逮捕される。公安刑事として正義を貫くか、父としてかけがえのない家族を守るか、幣原の選択とはいかに。

「灯台からの響き」 宮本輝

父の代から続く中華そば店を営む康平は、妻を急病で失って、長い間休業していた。ある日、分厚い本の中から、妻宛ての古いはがきを見つける。なぜ妻はこれを大事にしていたのか、そしてなぜ康平の蔵書に挟んでおいたのか。妻の知られざる過去を探して、康平は旅に出る。

POP 展示中!

図書委員のおすすめの本の POP を生徒玄関廊下にて展示しています。図書委員の力作をご覧ください。紹介している本は図書館にあります。気になる本は借りにきてくださいね。

最近読んだ本

中出洋子先生

「ライオンのおやつ」 小川糸

(内容) 男手ひとつで育ててくれた父のもとを離れ、ひとり暮らししていた雫は病と闘っていたが、ある日医師から余命を告げられる。最後の日々を過ごす場所として、瀬戸内の島にあるホスピスを選んだ雫は、穏やかな島の景色の中で本当にしたかったことを考える。ホスピスでは、毎週日曜日、入居者が生きている間にもう一度食べたい思い出のおやつをリクエストできる「おやつ時間」があるのだが、雫は選べずにいた

(中出先生)

「内容を知らずに読み始めましたが号泣でした。」